

条例

埼玉県産業技術総合センター条例の一部を改正する条例をここに公布する。

令和七年十二月二十三日

埼玉県知事 大野 元裕

埼玉県条例第五十三号

埼玉県産業技術総合センター条例の一部を改正する条例

第一条 埼玉県産業技術総合センター条例（平成十四年埼玉県条例第八十四号）の一部を次のように改正する。

別表第一第一号の表第三項中ルを削り、同表第五項中レを削り、ソをレとし、ツから才までをソからノまでとし、同表第六項中ヨを削り、タをヨとし、レからラまでをタからナまでとする。

別表第二第一号の表第二項中

固体試料の強度試験	一試料 一項目	一、二三〇円 (一項目を増すごとに四一〇円を加える。)
シート状試料の強度試験	一試料 一項目	一、〇〇〇円
立体形状試料の圧縮試験	一試料 一項目	三、一〇〇円

を

に、

固体試料の 強度試験	一試料 一項目	一、二三〇円 (一項目を増す ごとに四一〇円 を加える。)
立体形状試 料の圧縮試 験	一試料 一項目	三、一〇〇円

試験	(5) 溶解法による混用率	(4) 走査型 プローブ 顕微鏡に よる試験		トンネル顕 微鏡による もの	一試料 一測定
		原子間力顕 微鏡による もの	一試料 一測定		
					類以内) (二種 一試料

一二、八〇〇円 （一測定を増す ごとに六三〇円 を加える。）	九、四九〇円 （一測定を増す ごとに六三〇円 を加える。）	一、二四〇円 （一測定を増す ごとに六三〇円 を加える。）
---	--	--

を

(4) 走査型 プローブ 顕微鏡に よる試験		トンネル顕 微鏡による	一試料 一測定	一二、八〇〇円 （一測定を増す ごとに六三〇円 を加える。）
原子間力顕 微鏡による もの	一試料 一測定	九、四九〇円 （一測定を増す ごとに六三〇円 を加える。）		

に、

(4) キヤス	(3) 中性塩 水噴霧試 験								(2) 被膜試験（耐酸、耐 アルカリ、密着、ピン ホール）	(1) 膜厚測定
	四八時間以 内	九六〇時間 以内の試験	九六〇時間 以内の試験	七二〇時間 以内の試験	四八〇時間 以内の試験	二四〇時間 以内の試験	九六時間以 内の試験	四八時間以 内の試験	一試料 一項目	一試料 一層
二、七九〇円	二、八〇〇円	一九、〇〇〇円	一四、一〇〇円	九、五五〇円	五、六〇〇円	二、八二〇円	一、八六〇円	六〇〇円	九五〇円	

を

(3) キヤス 試験	(2) 中性塩 水噴霧試 験								(1) 被膜試験（ アルカリ、密 ホール）
	四内	九を	九以	七以	四以	二以	九内	四内	

耐酸、耐 着、ピン	一試料	九五〇円
八時間以 の試験	一試料	一、八六〇円
六時間以 の試験	一試料	二、八二〇円
四〇時間 内の試験	一試料	五、六〇〇円
八〇時間 内の試験	一試料	九、五五〇円
二〇時間 内の試験	一試料	一四、一〇〇円
六〇時間 内の試験	一試料	一九、〇〇〇円
六〇時間 を超える試	一試料	二三、八〇〇円
八時間以 の試験	一試料	二、七九〇円

に改める。

(5) 複合サイクル試験	試験			
	九六時間以 内の試験	九六時間を 超える試験	一試料	内の試験
二四時 間	一試料	一試料		
八、九三〇円 （二四時間まで を増すごとに四、 七三〇円を加え る。）	四、二三〇円	六、五二〇円		

(4) 複合サイク				
	九	内	九	超

六時間以上の試験	一試料	四、二三〇円
六時間を超える試験	一試料	六、五二〇円
ル試験	二四時間	八、九三〇円 (二四時間までを増すごとに四、七三〇円を加える。)

第二条 埼玉県産業技術総合センター条例の一部を次のように改正する。

別表第一第一号の表第一項中ラをムとし、レからナまでをソからラまでとし、タの次に次のように加える。

レーザー加工機	一時間	一、六一〇円
---------	-----	--------

別表第一第一号の表第四項ト中「二七〇円」を「六三〇円」に改め、同表第七項中レをソとし、ニからタまでをホからレまでとし、ハの次に次のように加える。

ニ エミッション測定システム	一時間	三、一七〇円
----------------	-----	--------

別表第一第一号の表第八項ホ中「四四〇円」を「五五〇円」に改める。

(3) キヤス試験	四八時間以内の試験	一試料	二、七九
	九六時間以内の試験	一試料	四、二三
	九六時間を超える試験	一試料	六、五二

別表第二第二号の表第二項中

(3) キヤス試験	一試料 (二四時間以内)	三、七三〇円 (二四時間までを増すごとに二、五九〇円を加える。)

〇円

〇円

〇円

を

に改め、同表

第三項中

(4) 真円度測定	
一試料	一測定
二、六〇〇円	

を

(4) 真円度

測定	一試料	三、一〇円
	一測定	(一測定を増すごとに六二〇円を加える。)

に、

(4) リバブレーションチヤンバーを使用する測定	一時
(5) 電磁波妨害源探査装置による測定	一時

間	間
一、四〇〇円 (一時間を増すごとに九、五〇円を加える。)	四、四七〇円 (一時間を増すごとに三、〇八〇円を加える。)

を

(4) エミッション測定システムによる測定	一時間	七、三一〇円 (一時間を増すごとに五、七六〇円を加える。)
(5) リバブレーションチヤンバーを使用する測定	一時間	一一、四〇〇円 (一時間を増すごとに九、五一〇円を加える。)
(6) 電磁波妨害源探査装置による測定	一時間	四、四七〇円 (一時間を増すごとに三、〇八〇円を加える。)

に改め、同表第四項を次のように改める。

四 環境試験		
イ 衝撃試験装置による試験	一試料 一測定	一三、八〇〇円
ロ 冷熱衝撃試験機による試験	一時間	一、七七〇円 (一時間を増すごとに八一〇円を加える。)

別表第二第一号の表第七項中「七六〇円」を「二、一七〇円」に改める。

附 則

1 この条例は、令和八年三月一日から施行する。ただし、第一条の規定は、公布の日から施行する。

2 第二条の規定による改正後の埼玉県産業技術総合センター条例別表第一及び別表第二の規定は、この条例の施行の日以後に申請のあった試験研究機器の利用の許可及び依頼のあった依頼試験の実施について適用し、同日前に申請のあった試験研究機器の利用の許可及び依頼のあった依頼試験の実施については、なお従前の例による。